放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 1月 31日　　　　事業所名 あおぞら児童クラブえすぱす

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	1		
	2	職員の配置数は人員基準上適切であるか	8	1		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	1		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、職員が複数で参画しているか	8	1		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9			
	6	この自己評価の結果をホームページ等で公開しているか	9			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	8		法人全体で検討している。
	8	職員の資質の向上を行うために、広く希望を募って研修の機会を確保しているか	9			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	1		年齢や特性に合ったツールを使い、適切にアセスメントできるようにする必要がある。
	10	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	1		繰り返しが必要な活動と、発達を見据えて次のステップを用意することのバランスを考えて取り組んでいきたい。
	11	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9			
	12	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			
	13	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			
	14	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9			振り返りを翌日以降の支援に確実に生かしていけるような仕組みを作る。
	15	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			
	16	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9			
	17	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	9			
	18	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9			
	19	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9			
	20	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	2		現在は対象となる子がいない。

関係機関や保護者との連携	21	新規就学児童を受け入れる場合は、就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9			
	22	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	8	1		現在は対象となる子がいない。
	23	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	1		
	24	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	1		少しずつ機会を増やしていきたい。
保護者への説明責任等	25	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			
	26	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っているか	3	6		法人全体でスキルの向上をしていきたい。
	27	支援の内容、利用者負担等の重要事項について丁寧な説明を行っているか	9			体制や利用料の変更の際に、丁寧に説明するよう努めていく。
	28	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			
	29	保護者をはじめとする家族交流会の開催等により保護者同士の連携、交流を支援しているか	8	1		少しずつ機会を増やしていきたい。
	30	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1		子どもに周知するというのは、どのようなケースがあるのか検討する必要がある。
	31	定期的におたより等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9			
	32	個人情報に十分注意しているか	9			
	33	意思の疎通や情報の伝達に困難を抱える子どもや保護者に対し、必要な配慮や工夫がなされているか	9			
	34	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	4		少しずつ機会を増やしていきたい。
非常時等の対応	35	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	1		
	36	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9			日程や内容を検討して、全員が参加できるように計画していく。
	37	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	1		
	38	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	2		支援内容が拘束に当たらないか、不断に検討していく姿勢が必要。
	39	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9			
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	1		気づきを生かしていく仕組みを作っていく必要がある。